

## 環境部

部長：松岡 修

副部長：福家 英樹

### (1) 今年度の目標

積極的な清掃活動により、環境美化に対する意識を高め、学校の生活環境を整える。  
校内の施設、設備、備品を大切に扱う心や態度を育て、美しい学校作りに努める。

### (2) 主な取り組みの計画

- ① 適切に清掃区域分担表を作成し、清掃手順例集を活用し、校内くまなく美化が図られるようにする。
- ② 学校行事等の前に大掃除を実施し、来客者を気持ちよく迎えられるようにする。
- ③ 生徒環境整備委員会を活用し、生徒が積極的に美化活動を行えるようにする。
- ④ 清掃用具の修理、補充を適切に行い、十分に清掃活動が行えるようにする。
- ⑤ 年度当初や学校行事の際に机、椅子等の施設、設備を適切に移動させ、行事が円滑に行えるようにする。
- ⑥ 安全点検や部室点検を学期に1回実施し、危険個所を早期に把握し、修繕する。

### (3) 成果

- ① 学校評価アンケート調査で生徒が93%、教員が89%生徒の清掃活動により、校内の生活環境は整えられていると答えており、校内の美化が図られていた。
- ② 入学式、斯文祭等の学校行事の前に大掃除を実施し、校内の美化が図られていた。
- ③ 斯文祭では期間中に環境整備委員が校内を巡回し、ゴミの回収を行った。終了後の後かたづけでも中心となり活動していた。
- ④ 学期初めや大掃除の前に環境整備委員がクラスの清掃用具や洗剤等の補充を行っていた。係りも清掃用具や洗剤類が不足しているものを、事務を通じて補充した。
- ⑤ 年度初めに机椅子にシールを貼り、番号で教室や出席番号がわかるようにした。斯文祭前にもシールが剥がれていないか確認をした。学校行事後に机椅子が所在不明になることはなかった。
- ⑥ 1学期、2学期末に安全点検を実施し、校内の危険個所を把握した。大きな問題となる施設の破損や危険個所は発見されなかった。

### (4) 課題と次年度以降の改善策

次年度、第1体育館等の工事の関係で清掃区域分担箇所を何度も変更する必要がある。事務との連絡を十分に行い、変更する場所や時期を適切に行う。

同様に工事の関係による、安全点検を実施する箇所についても、変更・調査を適切に行い、危険個所を早期に把握する。